

シロウリ (ウリ科)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
タネまき	植えつけ	収穫									

栽培ポイント

シロウリは、気温の低いうちは発芽しませんから、箱にタネをまいて、苗を作って5月上旬に植えるか、5月ごろ苗を買って植えれば、6～7月に収穫できます。畑にじかまきできるのは4月からですが、それ以降は7月までの長期間タネまきができます。

3月まきは、タネをまいた鉢や箱をビニールでおおって、南面の日のよく当たる暖かい所におきます。発芽後は夜はこもなどを上からかけて保温し、日中はビニールを少しあげ換気をはかります。本葉の芽が出始めたころに、ポリ鉢に1本ずつ植え、ビニールトンネルをかけて育苗し、5～6枚葉に育て、5月上旬に植えつけます。少量の苗を作るのなら、ポリ鉢にタネをまいてもかまいません。畑には、苦土石灰とヨウリンをまいておき、植えつけ、タネまきを行う1週間前に畝を作ります。

じかまきはタネまき後ホットキャップをかけてやると早く生育します。発芽後、双葉のとき2本に、本葉2～3枚で1本に間引きします。ホットキャップは徐々に穴をあけてやります。

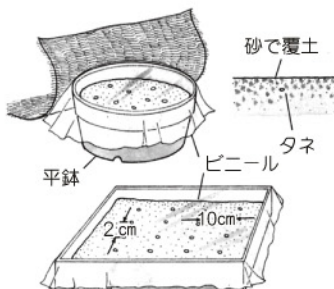
親づる、子づるは図のように摘芯し孫づるに結実させます。

栄養

淡色野菜の仲間です。ビタミンB、Cを含みます。

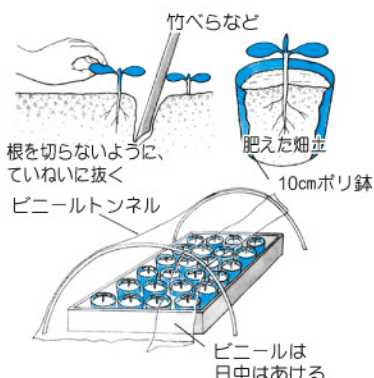
1 タネまき

3月上～中旬に、平鉢か平箱に川砂を入れ、タネをまく。タネまき後水をやり、暖かい日だまりになるところにおいて、ビニールをかけて保温する。3～4日で発芽し始めたら、高温になりすぎないように、日中はビニールを少しあげて換気する。



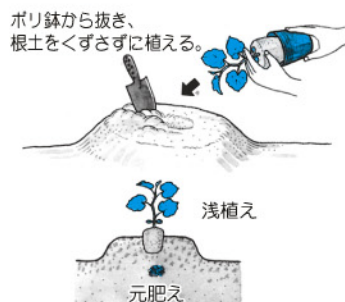
2 鉢上げ

タネまき後、10日ほどで双葉が開き、本葉の芽が出始めたころ、ポリ鉢に1本ずつ植え、ビニールトンネルをかけて育苗する。



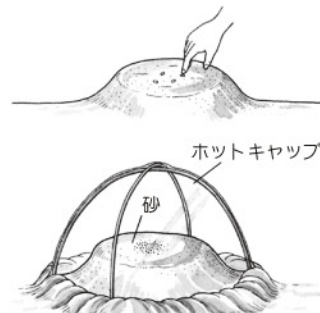
3 苗の植えつけ

土ごしらえをして、1m間隔のくらつきを作り、5月上旬、本葉5～6枚になった苗を、準備した畝に植える。



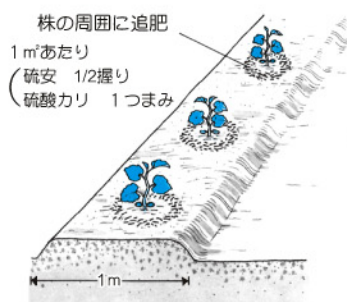
4 じかまき

4月から7月までタネまきができる。くらつきに4～5粒ずつタネをまき、川砂で覆土。水やり後ホットキャップをかけると生育が速い。



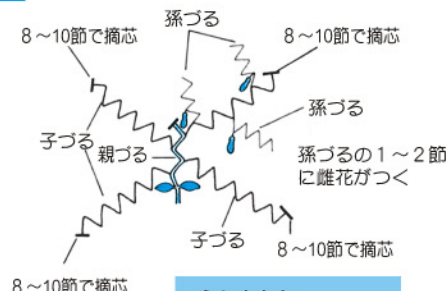
5 追肥

苗を植えた場合は1週間後に、じかまきした場合は本葉3～4枚のときに1回目の追肥を施す。それ以後、15日目、さらに20日目に追肥する。



6 整枝

苗は本葉4～5枚のところで摘芯し、子づるを3～4本伸ばして、それぞれ8～10枚葉で先端をつみとり、孫づるを出させ、これに結実させる。



主な病害虫

- ◆病気 うどんこ病
- ◆害虫 ウリバエ